

08年10月16日ダーラム郡警察ニュース

JSS 和訳

## トロント在住の男に 74 件の嫌疑

北ダーラムで進められた捜査の結果、ダーラム警察詐欺課の刑事たちによってトロント在住の男が、70件を超える嫌疑をかけられた。

10月15日水曜日、ダーラム警察重要詐欺課係官は、トロント在住の19才の男を、北ダーラムで連続して起きていたATMのカードデータ盗み出しにからんで逮捕した。捜査係官はこの男は9月27日にポートペリー及びブルックリンのCIBC支店で、また10月1日アックスブリッジのCIBC支店でATMに、デビットカードの情報と個人認識番号を読み取る機器を装着した。捜査官は、トロント、ヴォーン、キングスティー及びオレンジビルにあるCIBCのATMで起きた同様の事件は、この男が犯人であると考えている

容疑者である、トロントのヒルダ通り在住の Ruslan Alexandre BENCO 19才は、現在訪問者ビザでカナダに滞在している。

BENCOの容疑は、\$5000を超す詐欺6件、\$5000以内の詐欺6件、クレジットカードデータの不法所持12件、クレジットカード偽造用機器の所持12件、保釈条件違反38件である。犯行時 BENCO は、2007年にスコシア銀行のATMを狙った同様の犯行に伴う保釈中であった。この男は保釈聴聞のため本日、オシャワ市キング西通り242番地の法廷に出廷する。

BENCO ないしはATMの情報盗み出しに関する情報を持っている人は、詐欺課の Jeff Caplan 刑事(電話 905-579-1520 x5863)まで連絡されたい。匿名の情報はダーラム郡クライムストッパーズ(電話 1-800-222-8477)が受け付けている。また、情報提供者は、\$2000の奨

金を得ることがある。

## JSS 説明

“内閣に付属する Office of Privacy Commissioner (OPC) のウェブサイトによると、不正なテレマーケティングや電話などを使った詐欺被害通報のために州警察、RCMP、公正取引委員会が1993年に発足した通報センターである Phonebusters は、2006年中に identity theft による被害7,800件、被害総額16百万ドルを超える通報を受け付けており、またこの数字は全被害の約5%に満たないのではないかと推測している。推測が正しいとすると、被害総数は15万件以上、被害総額は約320百万ドルにも及ぶことになり、莫大である事が分かる。2003年に Ipsos Reid は、カナダでは一生の間で人口の約9%(2.7百万人)が被害を受けるという調査結果を発表しているし、・・・”

これは、本年3月24日付けでJSSが提供した、個人認識情報詐欺に関する記事の一部である。

個人認識情報の詐取はいろいろな方法で行われるが、訳出したいいわゆるATMスキミング(ATMで利用するカード類の情報を掬い取るという意味)はその典型のひとつである。詐取の方法は、このほかインターネットを利用したもの、電話によるものなどなどきわめて多種にわたっており、詳しくは上記の3月24日付記事を参照されたい。

ATMを通じた情報詐取についての警報が出されてから久しいが、訳出記事でも明らかのようにいまだ被害が後を絶たない、どころか1人の犯罪者が記事にあるような多量の情報を盗み出しているとする、実際に盗み出されている数は莫大なものと考えられる。被害届けは氷

山の一角、総額の 5%という推測(前記 3 月 24 日付記事)だ正しいとすると、被害は莫大なものである。

被害を防ぐには、情報を盗み取られないように注意することと、自分の銀行口座の動きに敏感になることであり、詳しくは前記記事に詳述したので参考にされたい。